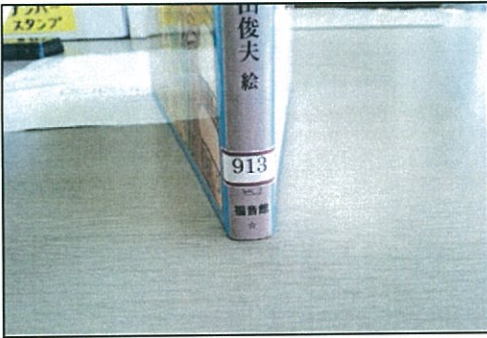


分類に応じてラベル貼り



1) で分類されたとおりに、本の背表紙にラベルを貼っていきます。貼るのに少しコツがいりますが、こちらも誰でもできる簡単なお仕事です。

データが入力され、ラベルも貼られた本は、現地の受け入れ態勢が整うまで保管され、要請があったところへ順次贈られています。

現在では、学校の図書館や移動図書館などへ約1万冊が贈られました。



▲本を届けた気仙中学校からのお礼の色紙。個人情報になるので遠くから、旧市役所に展示してあるので、実際に行って見てみましょう。

現在は、まだ受け入れ態勢の整っていない学校・図書館が多く、すべての本が届けられる目処は立っていません（5年、6年とも言われています）。

かかる

文化財レスキュー

大槌町図書館に保管されていた、大槌町の古い議会資料・郷土資料、新聞のスクラップなどが流失を免れました。しかしながら、津波をかぶってしまい、潮や泥で汚れています。

放っておくとかびてしまい、大槌町の歴史の重大な損失となってしまいます。

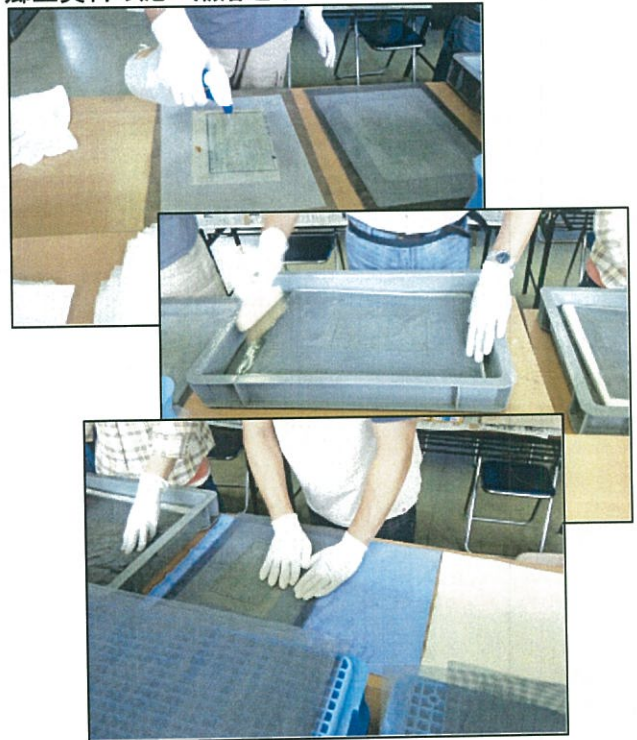
これらを誰にでもできる簡単な方法で修繕し、やが

ては大槌町に返還するための活動です。



▲実際の作業風景。スタッフの方と交流しながら。

郷土資料の泥・潮落とし



アルコールを吹きつけ、軽く水洗いした後、水気をとった後乾燥させるという簡単なやりかたで、泥や潮を抜いて修復することができます（墨は一度乾くと水やアルコールでは落ちないので、汚れだけを落とせます）。

修復する資料の中には、かつて三陸を襲った津波に関して記述したものもあるそうです。